

シティズンシップ教育研究大会 2022

第一次案内

日本シティズンシップ教育フォーラムでは「研究」に力点を置いた交流と研究発展に向けた場として、「シティズンシップ教育研究大会 2022」を10月2日(日)に開催いたします。「シティズンシップ教育研究大会」は、「シティズンシップ教育」をキーワードに、多様なディシプリンの垣根を越えた知見交流を通じて、これまでの自らの研究のあり方を振り返り、今後のシティズンシップ教育研究のありようを共に考えるプラットフォームとして、2019年度から開催してまいりました。これまでの研究大会では、政治学・社会学・教育学・心理学・哲学など多様なバックグラウンドの研究者はもちろんのこと、実践者や大学院生・学部生などの参加もありました。

今年度も、多様な研究者や実践者、院生・学生のみなさんを繋ぐ場となればと考えています。また、今年度も昨年度に引き続き、オンライン開催となっています。昨年同様にオンラインであることのメリットを生かし、地理的に離れた場所にある方々を繋ぐ契機になればと考えています。自由研究発表の発表者の皆さまには、発表申し込みの際に、自分の研究が該当する「キーワード」を選択して頂きます。大会実行委員会としては、これらのキーワードの情報をもとに、発表者同士が研究の多様性を感じながら、同時に共通する問題意識の接点を生み出せるように、分科会を編成していく予定です。

また、今回のシンポジウムのテーマは、「インクルージョンとシティズンシップ」です。公正で民主的な教育をめざすさまざまな形のインクルージョン／包摂の取り組みは、多様な人々の市民的参加を促すとともに、マジョリティ性やそれに基づいた教育観を問うてきました。一方、それは多くの場合、マイノリティがマジョリティ側に包摂されるという「一方通行」に近いプロセスを伴っています。そうしたインクルージョンの側面をどう乗り越えられるか、皆さんと考えたいと思います。

この分野の研究に長く取り組まれてきた方々のみならず、大学院生や学部生の方を含む若手の方や、新たに関心を持たれた方にも是非積極的にお越しいただき、今年度もシティズンシップ教育研究とともに切り拓いていくプラットフォームとなれば幸いです。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

1. 概要

■日時：2022年10月2日(日) 10時～17時30分

(任意参加のアフタートークは18時30分まで)

■会場：オンライン開催(参加者の方々に zoom ミーティングルームの URL を共有します)

■対象：シティズンシップ教育研究に関心をもつ方々なら、誰でも参加できます。

若手研究者・院生・学部生の参加を歓迎いたします。

■主催：日本シティズンシップ教育フォーラム (J-CEF)

2. 全体スケジュール

時間	内容
10:00～12:00	シンポジウム 「インクルージョンとシティズンシップ—教育においてどう結びつけるか」
13:15～15:00	自由研究発表セッション①（分科会ごとでの実施）
15:30～17:15	自由研究発表セッション②（分科会ごとでの実施）
17:30～18:30	アフタートーク（任意参加）

3. 参加費

- ・ 高校生：無料
- ・ 学生・院生：500 円（発表者：無料）
- ・ 一般：1,000 円

4. 大会企画

今回の研究大会では、二種類のセッションで企画を構成します。

(1)シンポジウム

参加者が一同に会し、共にシティズンシップ教育研究について考えます。

(2)自由研究発表セッション

発表者の研究成果について口頭で発表し、参加者と質疑応答やディスカッションを行います。

▶この度、自由研究発表セッションの発表者を募集いたします。

(1)シンポジウム

■テーマ：「インクルージョンとシティズンシップ —教育においてどう結びつけるか」

■趣旨

社会・経済・文化的差異等による排除を乗り越え、平等で民主的な教育をめざすために、さまざまな形のインクルージョン／包摂の取り組みがおこなわれてきた。インクルージョンをめぐる種々の議論は、人権や民主主義、社会正義の理念に基づき、多様な背景を持つ人々の市民的参加を促すとともに、マジョリティ性やそれに基づいた教育観の問い直しを迫るものでもある。

しかし、それらは往々にして、マイノリティがマジョリティ側に包摂されるという「一方通行」に近いプロセスを伴っている。この点で、インクルージョンは実際にはマイノリティの同化や、それに応じない者の排除を含意していると言える。また、「ダイバーシティ&インクルージョン」や「ユニバーサルデザイン」の推奨の掛け声は、包摂的な学習環境作りへの関心の広がりを示す一方で、時に道具的なアプローチに依拠することで新自由主義と共鳴し、人権や社会正義という理念との矛盾を惹き起こす危うさと隣り合わせでもある。

マイノリティの同化や排除をもたらすようなインクルージョンの側面は、どう乗り越えられ

るだろうか。また、一人ひとりの多様な生のあり方に向き合う学校や地域での学びには、どのようなアプローチがありうるだろうか。本シンポジウムでは、教育において「インクルージョン」と「シティズンシップ」をどのように結びつけていくことが可能かを検討し、シティズンシップ教育の課題と可能性を引き出すことを試みたい。

■キーワード：インクルージョン/包摂、多文化共生、対話、日本語教育、ユニバーサルデザイン、新自由主義

■パネリスト（五十音順）：

金和永さん（NPO 法人クロスベース）

原田大介さん（関西学院大学）

南浦涼介さん（東京学芸大学）

■コーディネーター：北山夕華さん（大阪大学）、橋崎頼子さん（奈良教育大学）

(2)自由研究発表セッション

自由研究発表は分科会（1発表につき持ち時間35分（発表時間15分～20分、質疑応答15分～20分）の開催を予定しています。

発表者の皆さまは、発表申し込みの際に、ご自身の発表内容が関連しうる「キーワード」をお選びください。キーワードは最大3点まで選べます。発表者の皆さまから頂いた情報は、分科会の編成の際に、参考にさせていただきます。

【キーワード：最大3点まで選択可（選択必須）】	
1. アート／文化	17. 地域連携／外部連携／NPO
2. SDGs／ESD	18. 思想・哲学
3. エンパワメント	19. 教育史（歴史）
4. 教育の効果・評価	20. 教育政策
5. ことばの教育	21. 教育方法／カリキュラム（教育課程）
6. 子ども・若者の参加	22. 教科教育
7. 子ども・若者の実態	23. 教師教育
8. ジェンダー	24. 高等教育
9. 社会運動	25. 社会教育・生涯学習
10. 社会正義	26. 政治教育／主権者教育
11. 人権	27. 道徳教育
12. 人種／民族	28. 平和教育・紛争問題解決
13. 多様性	29. 比較教育・国際教育
14. デジタルシティズンシップ	30. 歴史教育
15. 排除と包摂	31. その他
16. ボランティア／サービスマーケティング	

* 研究大会としての性質に鑑みて、次のような発表を想定しています。

- ①研究成果を発表し、フィードバックを得る（通常の学会発表と同様）
- ②構想段階や計画段階にある研究に関して発表を行ってブラッシュアップする
- ③他の学会等で既に発表したものを再び発表し、異なる観点からのフィードバックを得る

（卒論のプレ発表／修論のプレ発表、および学会発表未経験者の発表でもよい）

(3)アフタートークについて

17時30分～18時30分には任意参加のアフタートークを実施します。アフタートークでは、テーマ別に話題共有できる複数の部屋を用意します。設定する部屋の内容に関しては、後日参加申込者のみなさまからアイデアを募集いたします（任意回答）。その記入状況を考慮に入れて、実行委員が最終決定する予定です。

5. 今後の日程

- ・自由研究発表 申込・要旨提出締切 2022年8月31日（水）
- ・第2次案内（プログラム）公開 2022年9月中旬頃
- ・参加申込締切 2022年9月28日（水）

6. 参加申込

2022年9月28日（水）までに、日本シティズンシップ教育フォーラム（J-CEF）ウェブサイト（<http://jcef.jp>）の案内に従って、オンラインでお申し込みください。申込ページへの直接のリンク先は右のQRコードからアクセスしてください。



7. 発表申込

2022年8月31日（水）までに、日本シティズンシップ教育フォーラム（J-CEF）ウェブサイト（<http://jcef.jp>）の案内に従って、オンラインでお申し込みください。参加申込みに加えて、発表申込では別フォームに入力いただく必要がございます。ご注意ください。申込ページへの直接のリンク先は右のQRコードからアクセスしてください。



* 申込期間終了後の参加申込みにつきましては、事務局までお問合せください。

8. 自由研究発表セッション要旨提出

本大会では、各発表の要旨をJ-CEFウェブサイト（<http://jcef.jp/>）に事前に公開予定です（紙媒体での配布は予定しておりません。ご了承ください）。つきましては、自由研究発表セッションで発表される方は、以下の要領で要旨の作成および提出をお願いいたします。

(1)要旨の作成

- ・ Word ファイルでの作成をお願いします。
 - ・分量は、A4用紙1枚程度とします（最大2枚）。
 - ・余白は上下左右25mm、文字数40、行数40でページ設定をお願いします。
 - ・タイトル・サブタイトルおよび氏名・所属を冒頭5行に書いていただき、本文は6行目から始めてください。
 - ・フォントサイズ等は、以下の通りをお願いします。
 - ①発表題目（主題・副題ともに） 中央揃え MSゴシック、太字 12pt
 - ②発表者名（所属） 右揃え MS明朝 12pt
 - ③本文・見出し MS明朝体 12pt
- ※サンプル（本紙最終ページに掲載）と昨年度発表要旨集録（右のQRコード）をご参照ください。



(2)要旨の提出

2022年8月31日（水）までに、info@jcef.jp（担当：川中・若槻）までお送りください。

9. 「シティズンシップ教育研究大会2022」実行委員 （五十音順）

川口広美（広島大学大学院人間社会科学研究科准教授）

川中大輔（龍谷大学社会学部准教授）

北山夕華（大阪大学大学院人間科学研究科准教授）

堀本麻由子（東洋大学文学部准教授） <大会実行委員長>

古田雄一（筑波大学人間系助教）

若槻健（関西大学文学部教授）

10. 「シティズンシップ教育研究大会2022」シンポジウム実行委員 （五十音順）

北山夕華（大阪大学大学院人間科学研究科准教授） <シンポジウム実行委員長>

橋崎頼子（奈良教育大学教育学部准教授）

南浦涼介（東京学芸大学教育学部准教授）

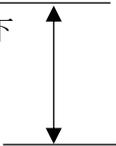
11. お問い合わせ先

日本シティズンシップ教育フォーラム事務局

E-mail： info@jcef.jp（担当：川中）

以上

余白は上下
ともに
25 ミリ



【文字数・行数の設定について】
文字数 40、行数 40 でページ設定をお願いします。

余白は左右
ともに
25 ミリ



タイトル（中央揃え MS ゴシック、太字 12pt）
——サブタイトル（中央揃え MS ゴシック、太字 12pt）——

発表者氏名（括弧内に所属）（いずれも右揃え MS 明朝 12pt）

本文・見出し（6 行目から：MS 明朝、12pt）

※分量は、A4 用紙 1 枚程度とします（最大 2 枚）。

※Word ファイルでの作成をお願いします。